

石卷南浜津波復興祈念公園
管理運営計画（案）

令和7年 月

目次構成案

| 項目 | 内容 |
|--------------|----------------------------|
| はじめに | 管理運営計画の背景と目的（踏まえるべき基本方針等） |
| 1 本公園の概要 | 施設内容 |
| 2 管理運営の重点目標 | 管理運営の重点目標（案） |
| 3 維持管理 | 植物管理、施設・設備管理、清掃管理 |
| 4 運営管理 | 行催事、広報、利用案内、利用受付、自主事業、収益事業 |
| 5 安全管理 | 園内巡視、災害時対応、事故・緊急時対応 |
| 6 関係機関との連携 | |
| 6-1 関係機関との連携 | 市民参加・協働、参加型運営協議会について |
| 6-2 伝承活動 | 活動内容、行政や活動団体の役割分担 |
| 6-3 杜づくり活動 | 活動内容、行政や活動団体の役割分担 |
| 6-4 市民利用活動 | 活動内容、行政や活動団体の役割分担 |
| 7 管理体制 | 管理受託者（指定管理者）の体制、教育・研修、人材育成 |

重点目標（案）

| 基本方針 | 管理運営の重点目標 |
|---|---|
| <p>1. 犠牲者への追悼と鎮魂の場を構築する</p> | <p>1) お亡くなりになった方への追悼の場や機会を提供します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お亡くなりになった方への追悼の場にふさわしい、適切な維持管理を行います。 ・公園を訪れた人や、公園で活動する人たちが、杜づくりにより育まれる自然環境や花のある風景等を通して「命の大切さ」や「命のつながり」を感じられるような公園とします。 ・被災地に整備された公園という特性を踏まえて、地域住民や公園の来訪者に、追悼の行催事やお亡くなりになった方を偲ぶ場、機会を多様なかたちで提供します。 ・県内・市内にある震災遺構・伝承施設と連携した管理運営を行います。 |
| <p>2. 被災の実情と教訓を後世に伝承する</p> | <p>2) 被災の記憶と教訓を後世に伝承する場や機会を提供します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みやぎ東日本大震災津波伝承館」の展示や園内の震災遺構、語り部による伝承活動、杜づくりや行催事の企画運営等の市民活動等、多様なヒト・モノ・コトにより、かつての暮らし・被災の実情と教訓を来園者に伝えます。 ・震災関連資料の展示やプログラムへの利活用を行い、津波から命を守るための行動の重要性を伝えます。 ・震災の教訓をより多くの人、さらに次世代にも伝えるために、伝承の方法や対象、内容などを工夫し伝えます。 ・市民や関係機関と連携して、語り部の継続的な活動の推進、防災学習を目的としたプログラムの提供を行います。 |
| <p>3. 復興の象徴の場としてメッセージを国内外に発信する</p> | <p>3) 復興の象徴の場として、国内外への情報の受発信を推進します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な主体による、参加型の杜づくりや花路づくり、伝承活動等の活動と連携して石巻らしい風景を育て、復興のメッセージを発信します。 ・市民や関係機関と連携して、石巻の伝承や防 |

| | |
|-----------------------|---|
| | <p>災、地域の魅力を伝える観光など、多様な観点から情報を国内外に発信し、石巻の地域ブランドづくりに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災に関する話題、地域の歴史文化、公園、被災地を訪れる旅行者向けの情報はじめ、外国人向け情報多言語化など、多様なニーズに対応した情報発信を行います。 ・利用者や関係者等から意見を聴取して、情報発信をはじめとする業務の改善にフィードバックします。 |
| 4. 多様な主体の参画・協働の場を構築する | <p>4) 市民や関係機関等との連携や協働による管理運営を推進します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や活動する市民団体が情報共有を行う場(プラットフォーム)を形成します。 ・杜づくり活動・伝承活動・市民利用活動の実施等において、市民団体や多様な主体と協働し、市民参画による管理運営を推進します。 ・市民団体等による行催事実施の協力や広報支援、学校団体の誘致等、関係機関と連携した取組を行います。 <p>・市民団体、国・県・市の行政機関の役割分担と互いの協力のもと、管理運営を行います。</p> |
| 5. 来訪者の安全を確保する | <p>5) 誰もが安全・安心に利用することができる場を維持します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震や津波等の災害発生時に、来園者が安全に避難できる体制や仕組みを構築します。 ・災害時に「自らの命を守る行動」が実行できることを目的とした防災教育の場を提供します。 ・植物や施設の適切な維持管理や清掃、園内巡回等の実施により多くの来園者が安心して、心地よく過ごすことができる場を提供します。 |